

2022年度 招聘講師講義 成果報告書

第1回 2021年6月1日(水) 上野谷 加代子 同志社大学名誉教授

【テーマ】「共生社会創造におけるソーシャルワークの役割」

地域共生社会の政策動向をふまえ、ソーシャルワークが必要とされる社会動向、およびそこで求められる知識や技術について解説していただいた。地域共生社会政策は2013年より段階的に発展したこと、そこで求められる地域支援がソーシャルワーカーに不足していたため、新カリキュラムに補強したこと等、根拠に基づく講義は院生の各分野の研究を広げ、つなげていくうえでも多くの示唆が得られた。

第2回 2022年7月20日(水) 山縣 文治 関西大学教授

【テーマ】「子どもの権利・人権と子ども家庭施策の展開」

権利と人権の違い、子どもの権利条約の特性を踏まえたうえで、子ども家庭施策の展開、子ども家庭福祉ソーシャルワークの特性についてわかりやすく解説していただいた。さらに、児童虐待問題について、子ども家庭福祉分野の資格に関する国の動きをはじめとして、深刻な児童虐待問題の現状および子どもの権利・人権を守るための施策展開について教示いただいた。「児童虐待が発生する構造には、発生抑制要因と虐待誘発要因があり、循環する予防が大切である」という言葉はとくに印象的であった。受講生にとっては、研究や実践に大変学びの多い講義になった。

第3回 2022年11月30日(水) 森山 千賀子 白梅学園大学教授

【テーマ】「介護老人保健施設におけるレクリエーション活動ー利用者の多様なフェーズとQOLに関連してー」

介護老人保健施設におけるレクリエーションに焦点をあて、現場の現状、現場の現状が縛られる介護保険制度の介護報酬、介護福祉士養成のカリキュラムについて、講義をいただいた。高齢者福祉領域において、三大介護が中心になりがち、さらにコロナ禍にあって、レクリエーション活動が弱体化している昨今である。今回の講義により、改めて要介護の人びと

の生活におけるレクリエーションのあり方を再認識した。とくに高齢者福祉領域の実践をしている院生にとっては、多面的にとらえることの重要性を認識する機会となった。

第4回 2023年1月18日(水) 山口 創生 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所室長

【テーマ】「システマティック・レビューに関する講義」

システマティック・レビューの重要性、基本的な技能、方法と展開について、具体的な研究事例を示しながら、丁寧にわかりやすく教示いただいた。さらに、演習形式による授業もあり、受講生はシステマティック・レビューを実践的に学ぶことができた。講義テーマに関する知識にとどまらず、リサーチクエスションや研究対象の設定、文献検索の方法など、研究デザインに関する知識も多く学ぶことができた。受講生にとっては、文献研究の大切さをあらためて認識し、研究デザインの基本的な視点を具体的に理解できた講義であった。